

## 平成30年度 第2回南河内中学校区小中一貫教育推進協議会 議事録

審議会等名 平成30年度 第2回下野市小中一貫教育推進協議会  
日 時 平成31年3月26日(火) 午後6時00分～午後8時00分  
会 場 下野市役所 2階 201・202会議室  
出席者 日下田英彦 委員、鈴木一恵 委員、白石恵子 委員、宮川長一 委員、  
高山信夫 委員、宮崎真人 委員、齋藤仁志 委員、松本賢一 委員、  
秋山幸男 委員、大島昌弘 委員、百武亘 委員、石嶋和夫 委員、  
根本典夫 委員  
【欠席委員】 海老原徹 委員、内木秀雄 委員  
市側出席者 池澤勤 教育長、  
(事務局) 坪山仁 教育次長、小谷野雅美 教育総務課長、  
伊澤仁一 教育施設整備室長、荻原孝裕 教育施設整備室主幹、  
海老原忠 学校教育課長、田澤孝一 学校教育課主幹兼課長補佐兼指導主事、  
西松治彦 同課主幹兼課長補佐、黒尾友希 学校教育課主査、  
上野保久 小中一貫教育統括コーディネーター  
設計事業者 A I S総合設計(株)  
公開・非公開別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開)  
傍聴人 0人  
議事録(概要) 作成年月日 平成31年3月29日

### 【協議事項】

#### 1. 開会(海老原課長)

#### 2. 会長あいさつ(石嶋会長)

こんばんは。先日、石橋中学校と吉田西小学校の卒業式に参加しました。卒業生だけでなく在校生の姿も立派でした。良い環境で良い子たちが育つことを実感しました。本協議会においても子どもたちに素晴らしい環境を提供できるように忌憚のないご意見をお願いしたいです。

#### 3. 委員紹介 (自己紹介)

#### 4. 報告

##### (1) 南河内中学校区における小中一貫教育の取組について

(石嶋会長) (1) 南河内中学校区における小中一貫教育の取組について、宮川委員より説明をお願いします。

(宮川委員) [資料1・資料2：小中一貫教育の取組について説明]

(百武委員) 今の説明で、小学校では算数の「割合」が弱い部分とあったが百分率のことか。

(宮川委員) そうである。小学校中学年で分数や割り算の意味を十分に理解させ、「割合」

の理解につなげている。中学校では「割合」を理科や社会の教科においても活用している。

- (齋藤委員) 来年度補助運動を取り入れると説明があったがどういうことか。
- (宮川委員) 登り棒を登る、鉄棒で斜懸垂をする、手だけで体を前進させるなど、自重を使った筋力づくりである。
- (根本委員) 資料1の目指す子ども像の第二段階の「体をきたえやりぬく子」、第三段階の「健康で元気な子」が資料2では入れ替わっているが、議論された結果か。
- (宮川委員) 校長間で議論した結果である。発達段階を考慮した結果である。

## (2) 義務教育学校整備基本計画策定後の経過について

- (石嶋会長) (2) 義務教育学校整備基本計画策定後の経過について事務局より説明をお願いします。
- (西松課長補佐) [資料3：南河内中学校区義務教育学校整備基本計画策定後の経過について説明]
- (大島委員) 現地視察した桃山学園の整備は、本市義務教育学校の整備計画と同様なのか。
- (伊澤室長) 桃山学園の学校形態は南河内中学校区義務教育学校と同様で、既存の中学校に小学校校舎を増設する整備である。
- (石嶋会長) 創設何年目の学校か。
- (伊澤室長) 平成30年4月開校である。
- (百武委員) 視察して整備等に参考にしたい点は何か。
- (秋山委員) 課題とかもあれば説明願う。
- (伊澤室長) 桃山学園は1つの中学校と2つの小学校が1つになった。3年間で整備を進めたとのことであった。本市義務教育学校の整備も短期間で事業を進めなければならない課題や、既存中学校校舎に小学校校舎を接続し小中学生の異学年交流スペースをどんな形で整備しているのかなどに視点を置き視察した。視察して参考にした点を次に説明する基本設計に反映している。
- (石嶋会長) 学校規模はどれくらいなのか。
- (伊澤室長) 子どもの数は763名で、本市義務教育学校と同規模である。
- (百武委員) 地域保護者説明会の参加人数はどうだったか。またどんな質問が出たのか。
- (西松課長補佐) 薬師寺コミュニティセンターが17名、吉田西小学校が19名、南河内東公民館が25名の計61名であった。主な質問だが、「なぜ義務教育学校にするのか」、「義務教育学校のメリット、デメリットは」、「義務教育学校で力を入れる教育は何か」、「スクールバスの運行について」などであった。
- (百武委員) 義務教育学校設立に向け進めているが理解されていない部分が見受けられる。
- (高山委員) ワークショップの保護者の参加者も予定より少なかった。
- (根本委員) 将来に向け適正規模で学校を運営することが子どもたちにとって良い事であることを理解してもらおうよう、これからも地道な説明が必要である。

## (3) 義務教育学校基本設計について

- (石嶋会長) (3) 義務教育学校基本設計について事務局より説明をお願いします。
- (伊澤室長) [別冊：義務教育学校基本設計について説明]
- (齋藤委員) ピロティなどにおける鳥害対策の配慮はどうか。

- (設計事業者) 本設計のピロティは1階部分が東西に抜けているだけで鳥がとまる場所はない。そのため鳥害の心配は少ないと考える。
- (齋藤委員) 災害時の水の確保について、停電しても確保できるよう井戸等は設けるのか。
- (伊澤室長) 現時点においては、具体的な事は検討していない。例えばプールの水をろ過して使用する等の方法もあるため、今後、具体的な方法については検討していく。
- (齋藤委員) 学童保育施設の整備はどうなるのか。
- (伊澤室長) 学童保育施設の整備はこども福祉課と検討している。既存体育館1階の柔剣道場がある場所に設置することを検討している。代替えの柔剣道場は新設の第二体育館での運用を想定している。
- (根本委員) 第二体育館が新設の小学校校舎と一体的に計画されているのは、大変評価すべきと考える。その影響によりテニスコートが無くなり、体育センターの南のテニスコートを使用するとなれば、テニス部員の移動等の安全性確保について新たな施策を講じてもらいたい。
- (齋藤委員) 緊急車両や大型の車両がグラウンドに入るにはピロティを通り抜けるのか。他から入ることはできないのか。
- (伊澤室長) ピロティを通らなくても北門を利用して校庭への侵入は可能である。
- (百武委員) ピロティは2階部分が通路になっている。風に対する強度は十分なのか。グラウンドの土も飛ばされてしまわないか。
- (日下田委員) 現在、校庭北側に樹木があるため風の影響は少ない。
- (石嶋会長) 風の影響については設計等において再度確認を願う。
- (伊澤室長) 事業工程説明の補足だが、平成34年4月開校後、既存校舎の改修工事を予定している。開校直前の3月まで職員室や給食室等は現施設を使用しているため、開校後の夏休み期間等を利用し他の施設に改修する計画である。

## 5. 議事

### (1) 義務教育学校設立準備委員会について

- (石嶋会長) (1) 義務教育学校設立準備委員会について事務局より説明をお願いします。
- (上野コーディネーター) [資料4：南河内中学校区義務教育学校設立準備組織体系図(案)について説明]
- (齋藤委員) 地元から選出される各部会の委員は、説明のとおり開校まで同じ方が続けてもらうのが良い。PTAの委員についても同様である。女性の意見も重要なので、女性委員が半数選出されることを願う。
- (宮崎委員) 先生方の負担が大きいと感じる。委員になった先生方でも人事異動は対象になるのか。
- (海老原課長) 人事異動の対象である。異動時には内容を引継ぐ。
- (根本委員) グラウンドデザインにある3つの部会と準備組織体系図にある3つの部会のネーミングの統一を図ってもらいたい。また、各部会を総括するグループには責任者がいるのか。
- (上野コーディネーター) ご指摘のとおりネーミングを統一する。また、各部会を総括するグループの責任者は設置しない。
- (根本委員) そうするとグラウンドデザインにある3部会の部会というネーミングは相応し

くない。

(石嶋会長) グランドデザインにある3つの部会と準備組織体系図にある3つの部会のネーミングは再度検討を願う。

(根本委員) 設立準備委員会開催時には協議会委員にも案内し、任意で参加できるよう要望する。

(百武委員) スクールバス運行部会の部会員に吉田東小学校と吉田西小学校の後援会メンバーも入れてもらいたい。

(石嶋会長) 事務局において再度検討を願う。

## (2) 今後の予定について

(石嶋会長) (4) 今後の予定について事務局より説明をお願いします。

(田澤課長補佐) 今後の協議会開催は、設立準備委員会や実施設計の進捗により開催日を決定する。

(石嶋会長) 以上、終了する。